

2021年4月22日

## どこからでも業務システムや ICT サービスへの セキュアなアクセスを可能にする「Flexible Remote Access」の提供を開始

NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、オンプレミスやパブリッククラウドに点在する社内業務システムや SaaS など各種の ICT サービスに、在宅勤務環境などどこからでもセキュアに接続できるリモートアクセスサービス「Flexible Remote Access」(以下、本サービス)を、2021年4月23日より提供開始します。

本サービスは、自宅や外出先などどこからでも、安心安全に業務ができる環境を実現します。また、NTT Com の「Flexible InterConnect」(以下、FIC)※<sup>1</sup>と組み合わせることにより、簡単にさまざまなサービスへセキュアに閉域接続することが可能です。さらに、月単位で ID 数の増減に対応できる柔軟なライセンス体系により、お客さまの事業環境変化に応じたコストの最適化を実現します。

また、本サービスは NTT Com のデータ利活用プラットフォーム「Smart Data Platform (以下 SDPF)」※<sup>2</sup>におけるネットワークサービスのひとつとして、デジタルトランスフォーメーション(DX)や ICT を活用して社会課題を解決する「Smart World」の実現に貢献していきます。

### 1. 背景

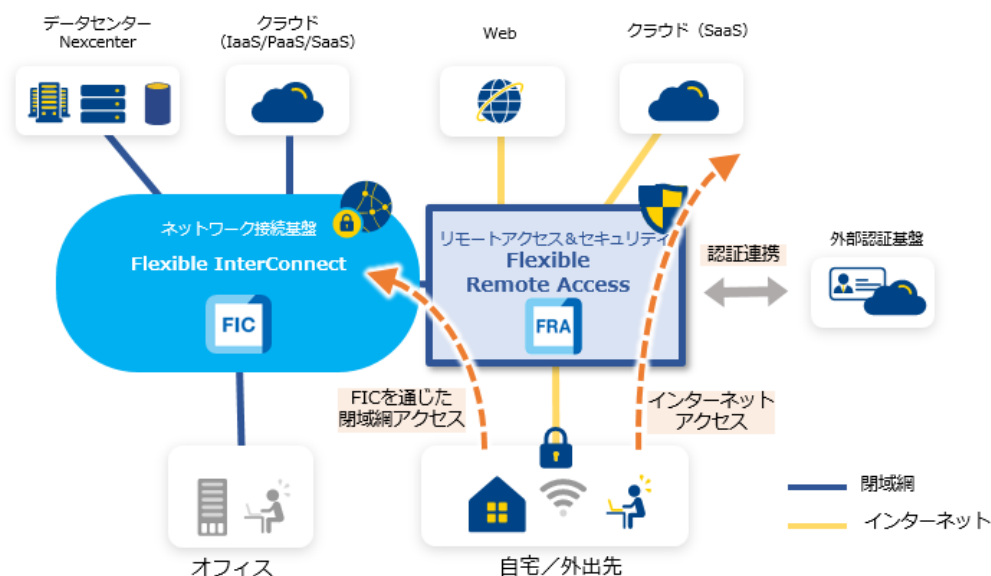
現在、ビジネスに必要な ICT サービスは、閉域網内のオンプレミス環境だけではなく、インターネット上のクラウドサービスなどさまざまな場所に点在しています。また、ニューノーマルの社会環境においては、これらのリソースに、従業員の自宅などどこからでもアクセスできることが求められています。

また、こうした変化やサイバー攻撃の高度化なども踏まえ、従来の境界型セキュリティのように社内ネットワークへの侵入を防ぐだけではなく、多要素認証や、アクセス管理機能などを組み合わせることで「ゼロトラスト」の概念に対応したセキュアな ICT インフラが必要とされています。

本サービスは、このようなニーズに対応し「どこからでも」「必要なリソースへ」「安心安全に」アクセス可能な ICT 環境を実現します。

## 2. 特長

### <Flexible Remote Access 導入環境のイメージ>



- (1) 必要なリソースをどこからでもセキュアかつ快適に利用できるリモートアクセス機能  
パソコンなどの端末に専用のソフトウェアをインストールすることで、自宅や外出先などのインターネット環境から、業務に必要なリソースへセキュアにアクセスすることができます。

本サービスは、「FIC ポータル」<sup>※3</sup>の設定のみで、FIC と簡単に接続することができるため、同サービスに接続された閉域網内の社内業務システムやクラウドサービスにも、リモートからアクセスすることが可能になります。

また、Web 会議や動画系アプリなど、パブリッククラウド環境で提供されるトラフィック容量の大きいサービスについては、インターネット経由で直接通信することができる「スプリットトンネル機能」を備えており、社内のインターネットゲートウェイ環境を逼迫させることなく、リモートアクセス環境下での快適なレスポンスを実現します。

- (2) ゼロトラストネットワークに対応する各種セキュリティ機能

本サービスは、従来の境界型セキュリティの仕組みだけではなく、証明書認証や端末のインストールソフトチェックなどの多要素認証を標準的に提供することで、ゼロトラストネットワークに対応した、よりセキュアなアクセス管理を可能にします。

また、ファイアウォール、IPS/IDS（不正侵入検知・防御サービス）、URL フィルター、アンチウイルスなどの UTM 機能<sup>※4</sup>も標準提供するほか、ログ管理機能により、「誰がいつ、どのアプリケーションで、どこへアクセスしているか」を把握することが可能です。

なお、お客さまがすでに「Active Directory」や「Azure Active Directory」などを運用中

の場合、これらの外部認証基盤と連携ができるため、利便性の高い ID 管理を実現します。

### (3) 月単位・ID 単位による柔軟な課金体系

必要な ID 数に応じた月単位のご契約が可能のため、ビジネス環境が急激に変化する際にも、ユーザー数の増減に柔軟に対応することができます。

## 3. 利用料金

メニュー	ID 数	月額 ID 単価 (税込価格)
Tier1	100~490	1,200 円 (1,320 円)
Tier2	500~990	700 円 (770 円)
Tier3	1,000~3,990	450 円 (495 円)
Tier4	4,000~11,990	400 円 (440 円)
Tier5	12,000~24,000	350 円 (385 円)

(お申し込みは 10ID 単位)

## 4. 提供開始日

2021 年 4 月 23 日

## 5. 今後の展開

本サービスでは、仮想化技術を用いた NTT Com の「VxF 基盤」<sup>※5</sup>を活用することで、今後スピーディーな機能強化を行っていきます。具体的には、モバイル端末からのアクセス対応や、利用可能 ID 数上限の増加、セキュリティ機能のさらなる強化（サンドボックス機能や SSL 複合化）など、お客さまのニーズに応じた強化を検討していきます。

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICT サービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界におけるサステナブルな未来の実現に貢献していきます。

**Re-connect X**

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

※1：「Flexible InterConnect」は、NTT Com が提供する次世代インターコネクトサービスです。社内外のクラウドサービスやデータセンターなどのさまざまな ICT サービスを閉域網でセキュアに接続します。詳細は下記 Web サイトをご覧ください。

<https://www.ntt.com/business/services/network/interconnect/flexible-interconnect.html>

※2 : データ利活用に必要な収集・蓄積・管理分析におけるすべての機能を、ICT インフラも含めてワンストップで提供し、データ利活用による DX 実現を加速させるプラットフォームです。詳しくは下記 Web サイトをご覧ください。



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

※3 : FIC ご利用者向けのポータルサイトです。各種クラウドサービスと FIC との接続や、設定、運用をポータル画面上の簡易な操作で実現します。

※4 : UTM (Unified Threat Management) 機能は 2021 年 6 月より提供予定です。

※5 : 「VxF (Virtual Everything Function) 基盤」は、NTT Com が次世代サービス提供のために開発した、自社向けの仮想化技術プラットフォームです。ICT システムに求められるネットワークの高機能化やセキュリティの付加機能を、仮想化技術を用いて実現します。